

温室効果ガス排出量/環境情報 検証報告書

2025 年 7 月 24 日

大同特殊鋼株式会社 御中

一般社団法人日本能率協会
サステナビリティセンター
上級経営管理者 前田 雅彦



1. 検証の対象及び目的

大同特殊鋼株式会社（以下「事業者」という。）が作成した算定対象^{※1}における算定結果「2024 年度算定報告書」（以下「算定報告書」という。）に記載の 2024 年度（2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで）の以下の温室効果ガス（GHG）排出量情報、及び、環境情報（水使用量）（以下「算定情報」という。）に関して、事業者は、一般社団法人日本能率協会 サステナビリティセンター（以下「当協会」という。）に対し、限定的保証を目的とした検証を依頼した。

1) スコープ 1 GHG 排出量

算定対象におけるエネルギーの使用に伴って直接的に排出されるエネルギー起源 CO₂ 排出量
及び、工業プロセスに伴って直接的に排出される非エネルギー起源 CO₂ 排出量

2) スコープ 2 GHG 排出量

算定対象における電力、熱の使用に伴って間接的に排出されるエネルギー起源 CO₂ 排出量

3) スコープ 3 GHG 排出量

算定対象の事業活動におけるスコープ 3 カテゴリ 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 13^{※2}において排出される
CO₂ 排出量

4) 水使用量

算定対象における受水量、排水量

検証の目的は、事業者の算定情報が算定方法^{※3}に従って、正確に測定、算出されているかについて、独立の立場から結論を表明することである。算定報告書を作成し算定情報を報告する責任は事業者にあり、当協会の責任は、独立の立場から算定報告書に記載された算定情報に対して限定的保証業務を実施して、結論を表明することにある。なお、事業者と当協会との間には、特定の利害関係はない。

2. 検証手続き

当協会は、GHG 排出量情報に関しては ISO14064-3:2019、環境情報に関しては ISAE3000 に準拠して検証を実施し、以下の事項を実施した。なお、限定的保証業務は、合理的保証業務における手続きと比較してその種類は異なり、実施の程度は狭く、合理的保証業務ほどに高い水準の保証を与えるものではない。

- 算定報告書に記載の算定情報を決定するために用いられた情報に関する算定方法、排出量算定システム、及び、関連資料の確認を事業者の本社訪問を含め実施
- 算定報告書の作成に関わる主な担当者へのインタビュー
- (株)ダイドー電子、(株)大同キャスティングス 中津川事業所、大同特殊鋼(株)中津川先進磁性材料開発センター、フジオーゼックス(株)本社・静岡工場への訪問による算定対象、データ収集手順確認、供給されたエネルギーのモニタリングポイントの現場視察
- 算定情報の正確性を確認するためのサンプリングによる根拠となる資料の確認

3. 検証の結論

算定報告書に記載された 2024 年度の以下の算定情報は、算定方法に従って、すべての重要な点において正確に測定、算出されていないと認められるような事項は発見されなかった。

・ GHG 排出量

検証された温室効果ガス排出量 (t-CO ₂ e)		算定対象※1
スコープ 1 (エネルギー起源 CO ₂)	384,295	大同特殊鋼株式会社、及び、大同特殊鋼関連会社
上記内訳		
大同特殊鋼株式会社分 (単体)	324,978	
大同特殊鋼関連会社分	59,318	
スコープ 1 (非エネルギー起源 CO ₂)	16,025	大同特殊鋼株式会社
スコープ 2※4	521,449	大同特殊鋼株式会社、及び、大同特殊鋼関連会社
上記内訳		
大同特殊鋼株式会社分 (単体)	373,515	
大同特殊鋼関連会社分	147,934	
スコープ 3※5	1,368,189	大同特殊鋼株式会社
スコープ 3 内訳		
カテゴリ 1	1,043,292	
カテゴリ 2	73,282	
カテゴリ 3	178,572	
カテゴリ 4	51,464	
カテゴリ 5	15,286	
カテゴリ 6	2,987	
カテゴリ 7	3,305	
カテゴリ 13	0	

・ 水使用量

検証された水使用量 (m ³)		算定対象
総受水量	22,000,931	大同特殊鋼株式会社： 知多工場、星崎工場、渋川工場
水源別 受水量	工業用水	21,632,491
	上水	89,872
	海水	0
	地下水	278,568
	その他 (河川水、中水など)	0

検証された水使用量 (m ³)		算定対象
総排水量	23,625,814	大同特殊鋼株式会社： 知多工場、星崎工場、渋川工場
排水処理 方法別 排水量	未処理	0
	第三者による水処理（下水道）	109,202
	沈降分離など物理的处理	10,762,939
	浄化槽など生物処理	0
	凝集沈殿処理	12,578,473
	その他	175,200
放流先別 排水量	河川・湖沼	11,197,809
	地下	0
	海域	12,318,803
	第三者による水処理（下水道）	109,202
	その他	0

NOTE:

※1：算定対象：上記表を参照

- ・大同特殊鋼株式会社：知多工場、知多第2工場、星崎工場、渋川工場、築地テクノセンター、君津工場、王子工場、滝春テクノセンター、中津川テクノセンター、中津川先進磁性材料開発センター、本社、東京本社、大阪支店、福岡営業所、及び、バンコク事務所（スコープ1,2、スコープ3のカテゴリ3のみが対象）
- ・大同特殊鋼関連会社：対象企業は以下参照（一部の営業所等は算定対象外）
OHIO STAR FORGE CO., Lexington Technologies Company LLC., 木曽駒高原観光開発(株), 下村特殊精工(株), Oriental Shimomura Drawing (M) SDN.BHD., 下村特殊精鋼(蘇州)有限公司,
Daido Shimomura Steel Manufacturing (Thailand) Co.,Ltd., (株)大同 IT ソリューションズ, 大同エコメット(株), 大同環境エンジニアリング(株), (株)大同キャスティングス, 大同興業(株), 大同スターテクノ(株),
Daido Steel (America) Inc., Daido Steel (Thailand) Co.,Ltd., 大同精密工業(株), 大同 DM ソリューション(株),
DAIDO DMS SINGAPORE PTE. LTD., DAIDO DMS VIETNAM CO., LTD., DAIDO DMS (THAILAND) CO., LTD.,
DAIDO DMS MALAYSIA SDN BHD., 天文大同特殊鋼股份有限公司, 大同模具鋼（広州）有限公司,
DAIDO D.M.S. INDIA PVT LTD., DAIDO DMS PHILS.,INC., (株)ガイドー電子, 大同磁石(広東)有限公司,
Daido Electronics (Thailand) Co.,Ltd., 大同特殊鋼(上海)有限公司, 大同特殊鋼(深圳)有限公司,
大同斯蒂尔材料科技(上海)有限公司, 大同プラント工業(株), (株)大同分析リサーチ, 大同マシナリー(株),
(株)大同ライフサービス, 東洋産業(株), 日星精工(株), 日本精線(株), 日精テクノ(株), THAI SEISEN CO.,LTD.,
耐素龍精密濾機(常熟)有限公司, 大同不銹鋼(大連)有限公司, 韓国ナスロン(株), 日本鍛工(株), フジオーゼックス(株),
(株)ジャトス, (株)テトス, オーゼックステクノ(株), (株)マルヨシ製作所, (株)ビーアンドエム, 富士気門(広東)有限公司,
PT. FUJI OOXZ INDONESIA, FUJI OOXZ MEXICO, S.A. DE C.V., PT. ASTRA DAIDO STEEL INDONESIA,
泉電気工業(株), 川一産業(株), 桜井興産(株), 東北特殊鋼(株), 丸太運輸(株), 理研製鋼(株)

※2：スコープ3の各カテゴリの概要

- カテゴリ1（購入した製品・サービス）：購入した原料・資材などを対象
購入した原料の一部に関してサプライヤーの公表データを原単位として使用
- カテゴリ2（資本財）：設備投資の固定資産を対象
- カテゴリ3（スコープ1,2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動）：使用した燃料、電力、熱を対象
なお、再エネ由来の電力を排出量ゼロで算定
- カテゴリ4（輸送、配送（上流））：（原料・資材・仕掛品・製品の）国内・海外の陸上、海上輸送、及び、国内鉄道輸送を対象
- カテゴリ5（事業から出る廃棄物）：算定対象から出る産業廃棄物を対象

- カテゴリ 6（出張）：従業員（正社員）の出張を対象
- カテゴリ 7（雇用者の通勤）：従業員（正社員）の所属拠点への通勤を対象
- カテゴリ 13（リース資産（下流））：事業者の敷地外にての土地貸し(リース)が対象であったが売却

※3：スコープ 1, 2, 3、水の算定方法

「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン (ver.2.7)」、「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース (ver.3.5)」、「国立研究開発法人産業技術総合研究所 IDEA Ver.3.5」、及び、事業者が作成した「大同スコープ 3 算定値 諸元まとめ」、「受水量・排水量算定シート」

※4：電力の排出係数

国内：電気事業者・メニュー別基礎排出係数を使用

海外：「国立研究開発法人産業技術総合研究所 IDEA Ver.3.5」の値を使用

※5：スコープ 3 の値(t-CO₂e)は各カテゴリの小数点以下も含めた合計値

4. 当協会の独立性と品質管理

ISO14065:2020 に適合する包括的なマネジメントシステムを当協会は導入し、維持している。これは、国際会計士倫理基準審議会による品質マネジメント基準 1、及び、誠実性、客観性、職業専門家としての能力と正当な注意、守秘義務、及び職業的専門家としての行動に関する基本原則に基づく独立性等の要件を含む職業会計士の倫理規定における要求を満たすものである。

以上